

秋季特別展

南蛮

— 異文化が交差した京都の記憶 —



2026.11.2^① → 12.12^②

京都産業大学ギャラリー

前期 | 11/ 2^① ~ 11/22^②
後期 | 11/25^③ ~ 12/12^④

入場
無料

開館時間 10:00 ~ 16:30 ※^⑤のみ 13:00 ~ 16:30 (入館はいずれも 16:00 まで)

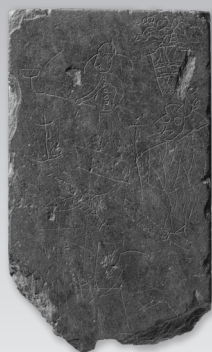
休館日 日曜、祝日、11/24^⑥ ※11/3^⑦・^⑧、11/22^⑨、12/6^⑩は開館

主催：京都産業大学ギャラリー

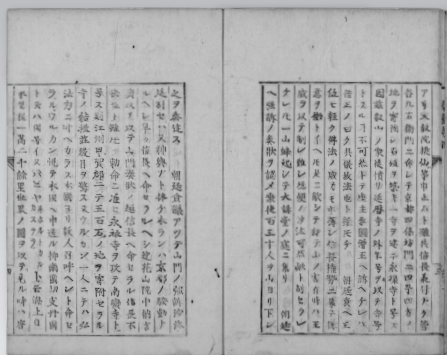
協力：一般財団法人 南蛮文化館、京都外国語大学附属図書館、京都大学総合博物館、
京都大学附属図書館、京都府立京都学・歴彩館、同志社大学歴史資料館、妙法院

画像①『日本イエズス会書簡集』(部分) (1598年) 京都外国語大学附属図書館蔵 ②南蛮屏風(右隻部分) (16世紀) 南蛮文化館蔵

16 世紀中頃から17世紀にかけて来航したポルトガル人やスペイン人らヨーロッパ人は「南蛮人」と呼ばれ、鉄砲をはじめとするさまざまな文物を日本にもたらしました。キリスト教もその一つで、天文18年(1549)にフランシスコ・ザビエルが来日して以降、宣教師たちは各地で布教活動を展開します。天正4年(1576)、京都・四条坊門姥柳町にて献堂式が行われた「被昇天の聖母教会」は、「都の南蛮寺」として広く知られていましたが、禁教と弾圧が進むなかでその姿を消してしまいました。令和8年(2026)は、「都の南蛮寺」の献堂から450年にあたります。本展では、東西交流の広がりや禁教・弾圧の歴史を、貴重な資料を通して紹介します。



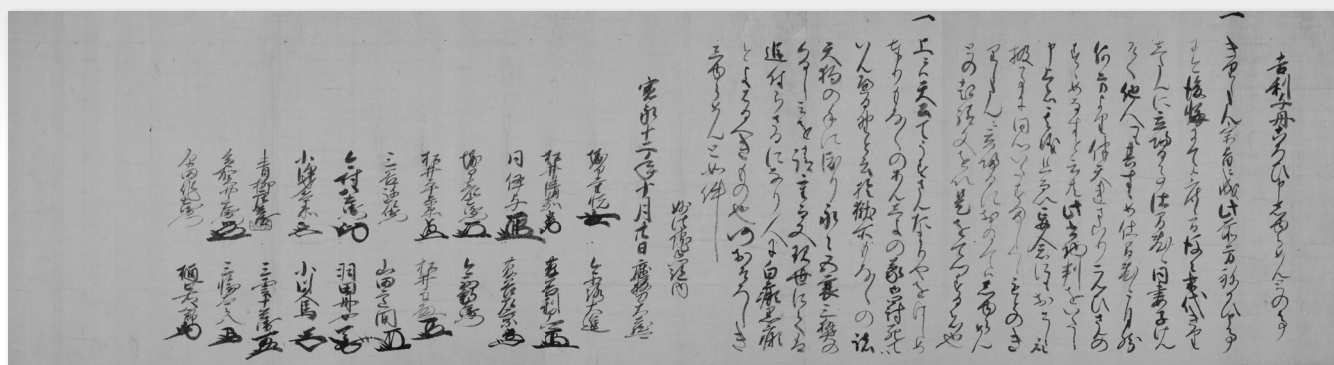
①京都南蛮寺出土人物線刻硯(16世紀)
同志社大学歴史資料館蔵



②『南蛮寺興廃記』(慶応4年(1868))
京都府立京都学・歴史館蔵



③キリシタン墓碑(慶長8(1603)年6月28日)
京都大学総合博物館蔵



④重要文化財 庁務大蔵卿等連署吉利支丹誓状(寛永12年(1635)) 妙法院蔵

関連イベント

講演会①

11月3日 ④・㊟ 13:30~15:00(開場13:00)
近世城郭と幻の南蛮寺
講師：中井 均 氏 (滋賀県立大学名誉教授)

講演会②

11月14日 ㊤ 13:00~15:00(開場12:30)
16~17世紀のキリスト教と京都の社会・文化
講師：若松 正志 氏 (京都産業大学文化学部教授)

京都の武家女性とキリスト教
講師：日向 志保 氏 (総合研究大学院大学 博士後期課程)

担当学芸員によるギャラリートーク

講師：三木 沙友理 (京都産業大学ギャラリー学芸員)
日時：①11月22日 ㊤ 13:30~14:45
②12月6日 ㊤ 13:30~14:45
定員：各回20名 場所：京都産業大学ギャラリー展示室

<講演会①②とも>

会場：むすびわざ館ホール (むすびわざ館2階)
定員：200名 (事前申込制・先着順)

<関連イベント申込>

申込先：<https://www.kyoto-su.ac.jp/campus/gallery/>
受付開始：2026年10月1日 ㊤ 10:00~

参加費無料



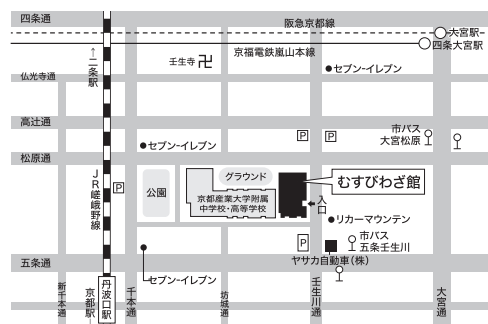
問い合わせ先

京都産業大学
むすびわざ館事務室(ギャラリー)
京都市下京区中堂寺命婦町1-10
TEL：075-277-0254 (平日9:00~16:30)
FAX：075-277-1699
E-mail：gallery-office@star.kyoto-su.ac.jp
Webサイト：<https://www.kyoto-su.ac.jp/campus/gallery/>

アクセス

- JR 丹波口駅より 徒歩約7分
- 阪急 大宮駅・京福 四条大宮駅より 徒歩約11分
- 市バス 大宮松原または五条壬生川より徒歩約5分

駐車場・駐輪場はございませんので、ご来館の際には公共交通機関をご利用ください。



㊤ 有料駐車場